

2016年3月期 第1四半期決算説明会

LOVE
ALL NEW
LAPIN

好き。という気持ちをクルマにしました。



スズキ株式会社

2015.8.3

- ・ 増収、営業・経常利益増益
- ・ 四半期純利益（親会社株主帰属）減益

（億円）

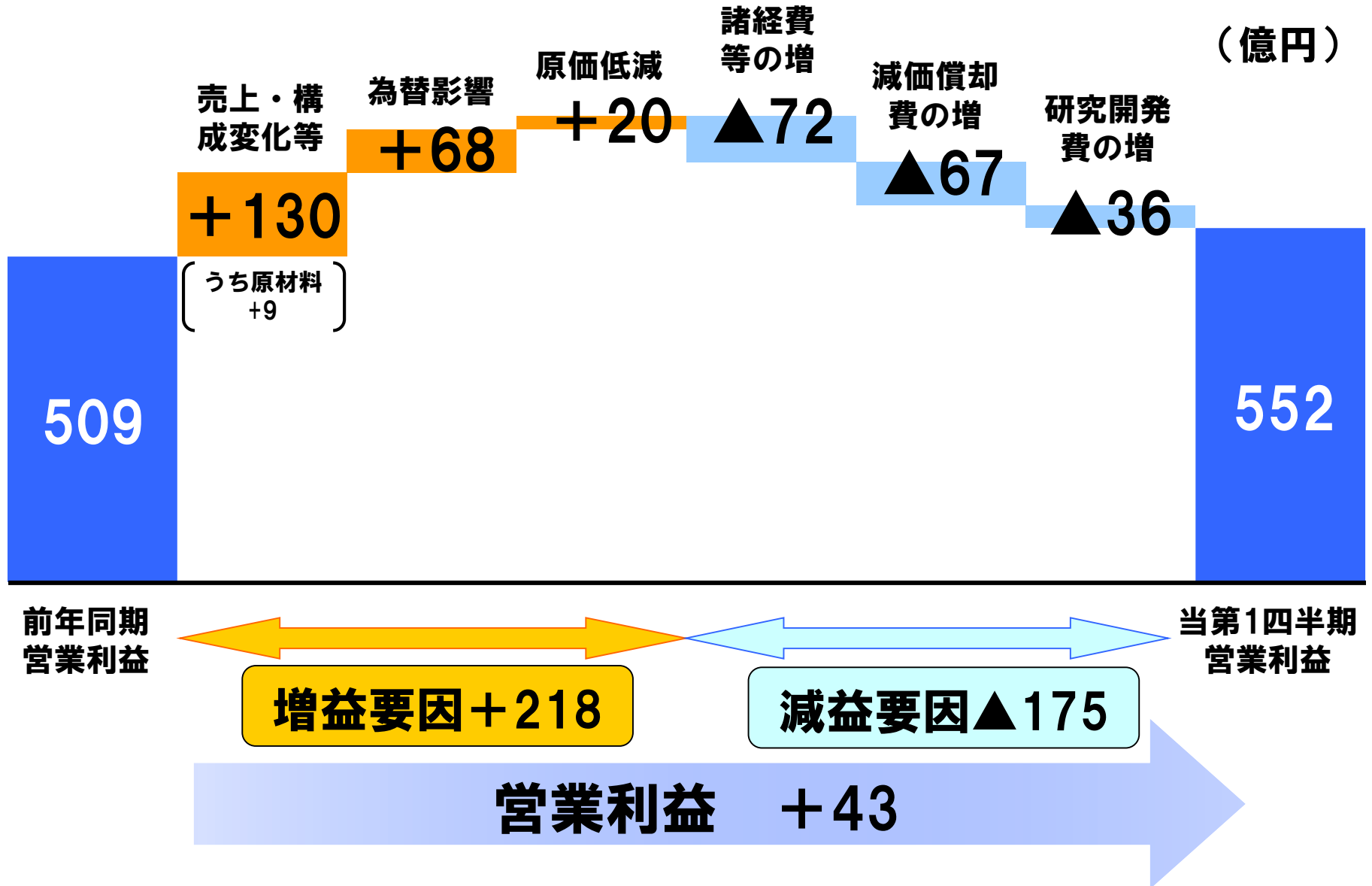
	当第1四半期 ('15/4-6)	前年同期 ('14/4-6)	増 減	
				増減率
売上高	7,729	7,104	+625	+8.8%
国内売上	2,473	2,560	▲87	▲3.4%
自 社	2,220	2,217	+3	+0.1%
OEM	253	343	▲90	▲26.4%
海外売上	5,256	4,544	+712	+15.7%
営業利益 （利益率）	552 (7.1%)	509 (7.2%)	+43	+8.3%
経常利益 （利益率）	623 (8.1%)	593 (8.3%)	+30	+5.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 （利益率）	317 (4.1%)	375 (5.3%)	▲58	▲15.5%

(億円)

内、為替
換算影響

	二 輪			四 輪			特機等			合 計			
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	50	56	▲6	2,379	2,461	▲82	44	43	+1	2,473	2,560	▲87	
自 社	50	56	▲6	2,126	2,118	+8	44	43	+1	2,220	2,217	+3	
OEM				253	343	▲90				253	343	▲90	
海外計	559	600	▲41	4,540	3,829	+711	157	115	+42	5,256	4,544	+712	+372
欧 州	142	119	+23	826	830	▲4	47	45	+2	1,015	994	+21	▲39
北 米	87	119	▲32	12	13	▲1	77	49	+28	176	181	▲5	+25
アジア	231	256	▲25	3,125	2,507	+618	11	6	+5	3,367	2,769	+598	+386
その他	99	106	▲7	577	479	+98	22	15	+7	698	600	+98	▲0
総合計	609	656	▲47	6,919	6,290	+629	201	158	+43	7,729	7,104	+625	+372
内、為替 換算影響			+33			+325			+14			+372	

※当期・・・2015年4～6月期、前期・・・2014年4～6月期



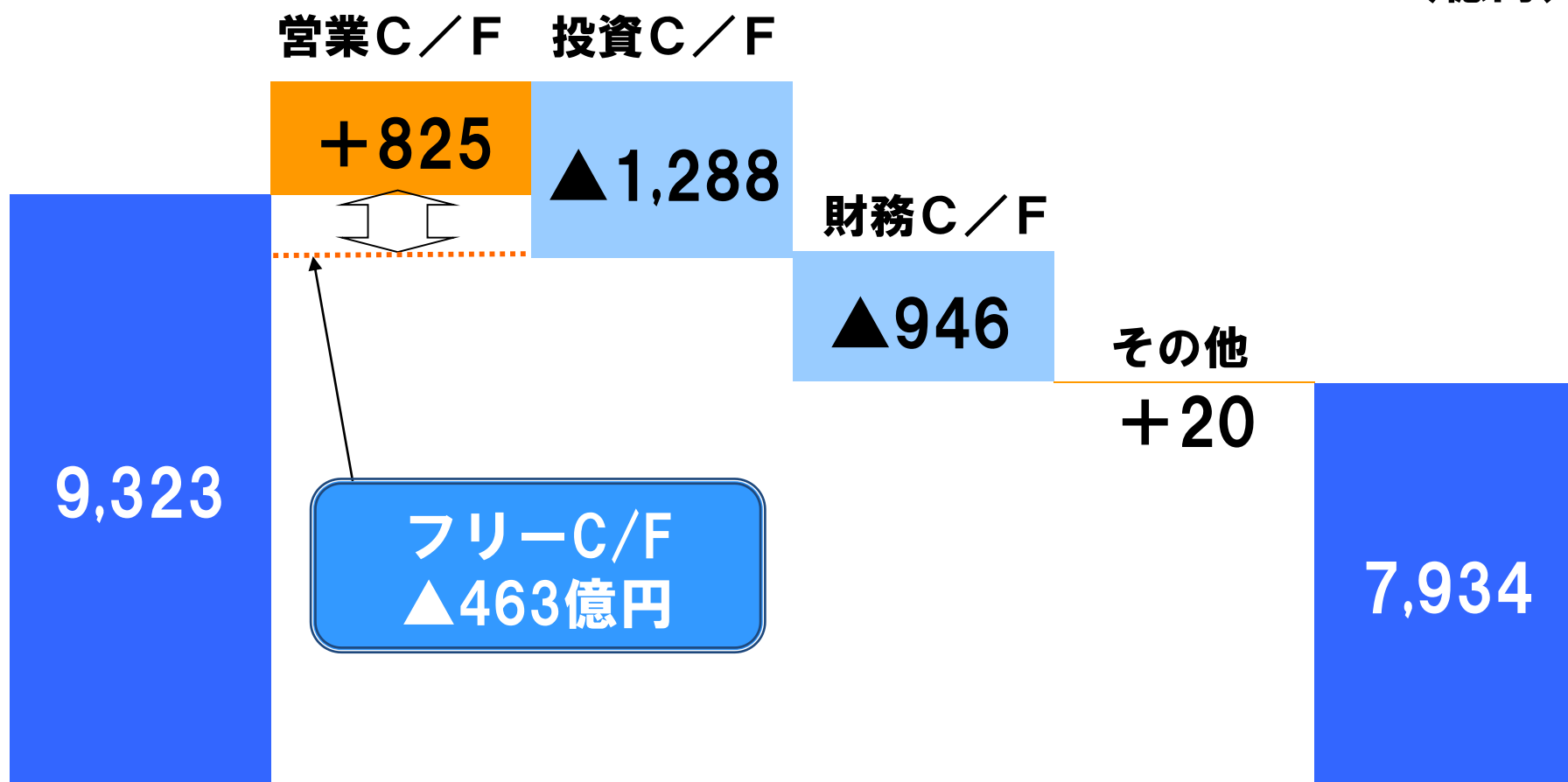
	当第1四半期 (’15/4-6)	前 期 (’14/4-6)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	121円	102円	+19円	+21億円
ユーロ	134円	140円	▲6円	▲15億円
インドルピー	1.93円	1.72円	+0.21円	+49億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.93円	0.88円	+0.05円	+3億円
タイバーツ	3.66円	3.15円	+0.51円	▲8億円
その他	—	—	—	+18億円
計				+68億円

(億円)

	当第1四半期 ('15/4-6)	前 期 ('14/4-6)	増 減
(当社単独)	120	92	+28
(子会社)	217	334	▲117
設備投資	337	426	▲89
減価償却費	376	309	+67
研究開発費	316	280	+36

	当第1四半期末 ('15/6末)	前年同期末		前期末	
		('14/6末)	増 減	('15/3末)	増 減
有利子負債残高	4,712	4,433	+279	5,547	▲835

(億円)



期首残高

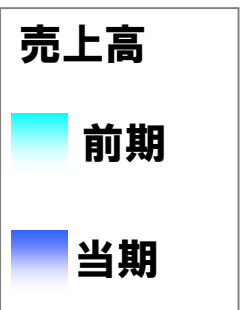
キャッシュ残高 ▲1,389

当第1四半
期末残高

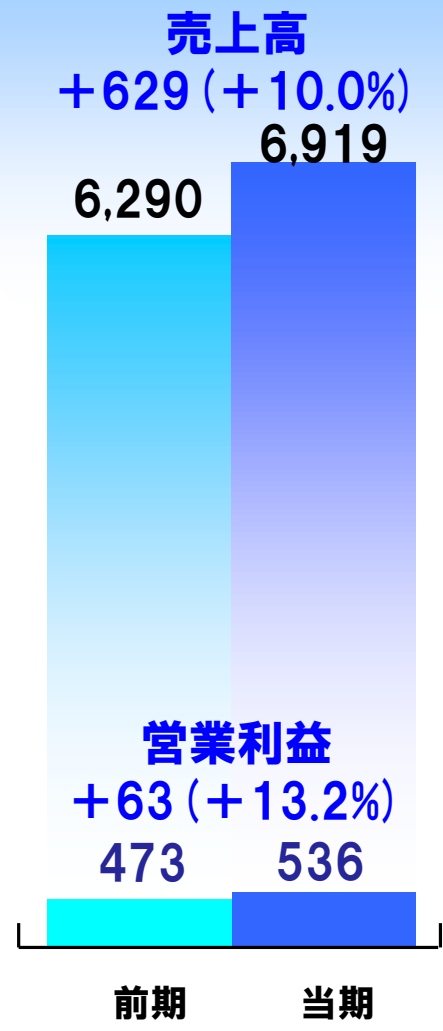
連結：事業別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

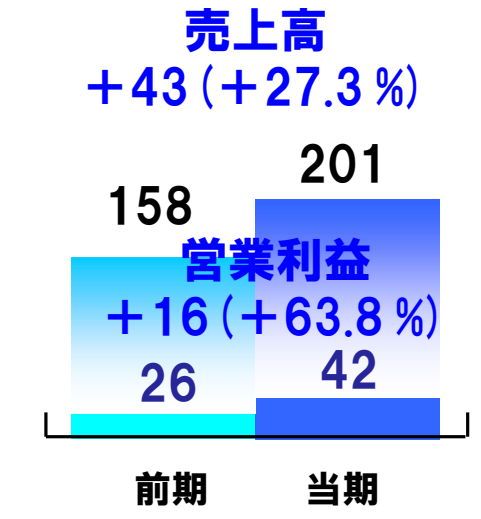
《二輪》



《四輪》



《特機等》

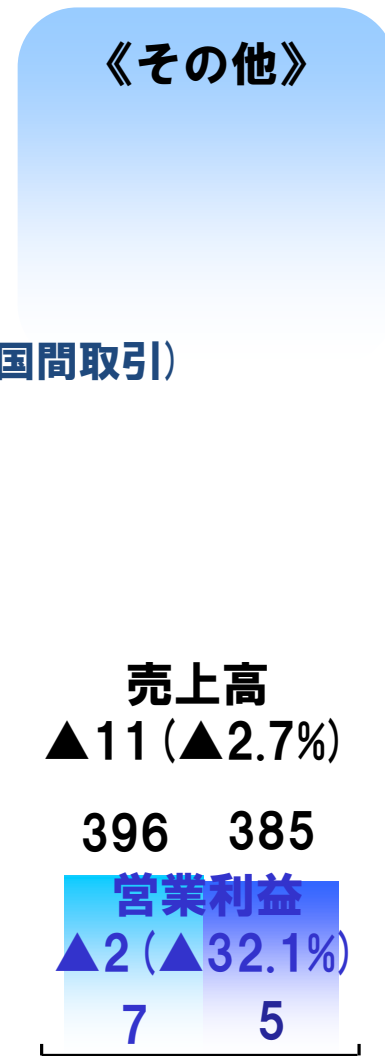
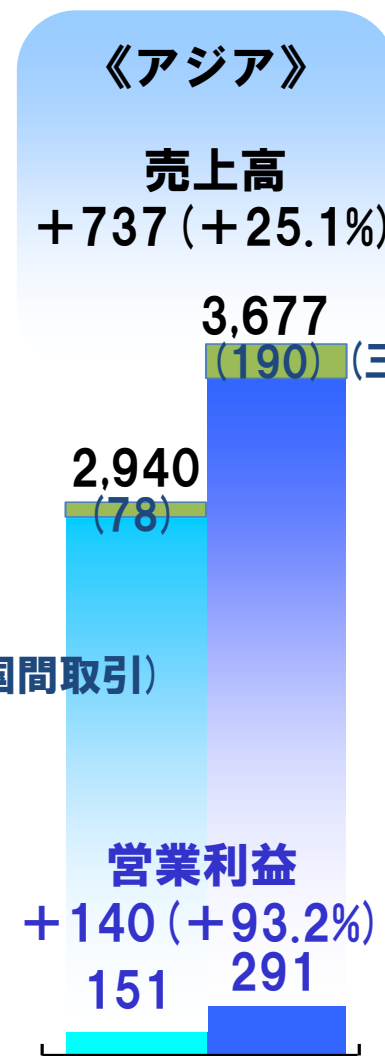
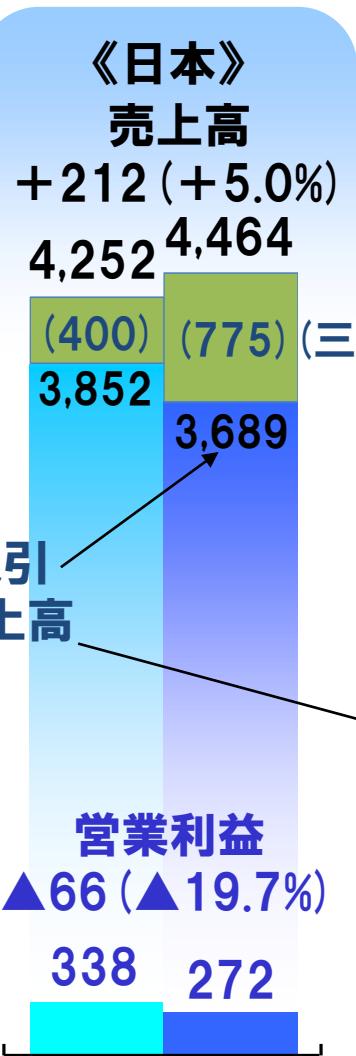


※当期・・・2015年4～6月期、前期・・・2014年4～6月期

連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)

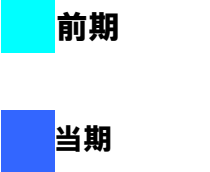
(億円)

売上高



三国間取引
を除く売上高

営業利益



前期 当期

前期 当期

前期 当期

前期 当期

※当期・・・2015年4月～6月期、前期・・・2014年4月～6月期

	当第1四半期末	前年同期末		前期末	
	('15/6末)	('14/6末)	増減	('15/3末)	増減
連結 子会社数	133社	133社	±0社	133社	±0社
持分法適用 関連会社数	35社	37社	▲2社	35社	±0社
従業員数	58,466人	57,782人	+684人	57,409人	+1,057人

・5月11日公表から変更なし

（億円）

	通期予想	前期比較		上期予想
		前期実績	増減	
売上高	31,000	30,155	+845	15,000
営業利益	1,900	1,794	+106	910
経常利益	2,000	1,943	+57	980
親会社株主に帰属する当期純利益	1,100	969	+131	550
増減要因	原価低減	+290	+272	
	売上・構成変化等	+156	▲181	
	諸経費等の増減	+50	▲236	
	減価償却費の増	▲260	▲172	
	為替影響	▲90	+222	
	研究開発費の増減	▲40	+12	
計	+106	▲83		
設備投資	1,800	1,945	▲145	
減価償却費	1,600	1,344	+256	
研究開発費	1,300	1,259	+41	

連結：通期予想 (為替レート前提)

・5月11日公表から変更なし

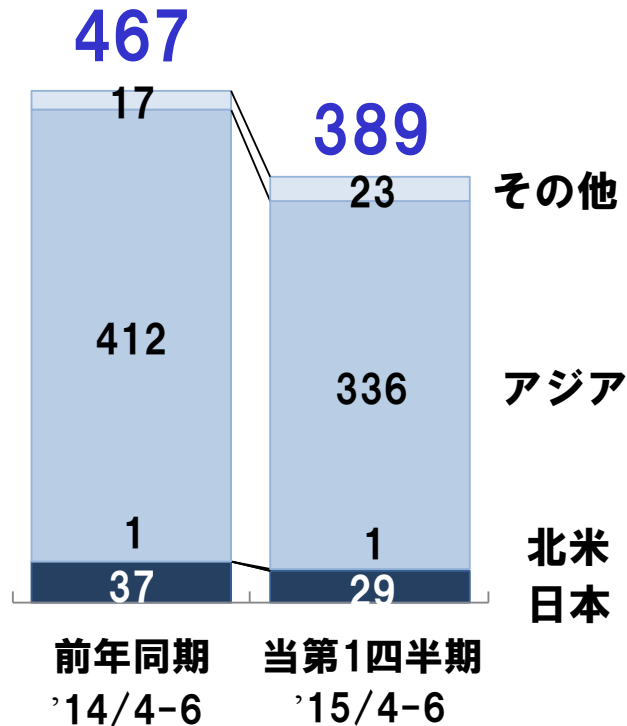
	通期予想 (2015.4～ 2016.3)	為替影響	前期比較 (2014.4～2015.3)	
			通期実績	増減
米ドル	115円	+20億円	110円	+5円
ユーロ	125円	▲98億円	139円	▲14円
インドルピー	1.85円	+35億円	1.81円	+0.04円
インドネシアルピア※	0.90円	▲3億円	0.91円	▲0.01円
タイバーツ	3.50円	▲7億円	3.38円	+0.12円
	その他通貨	▲37億円		
	為替影響額 計	▲90億円		

※インドネシアルピアは100ルピア当りのレート

(千台)

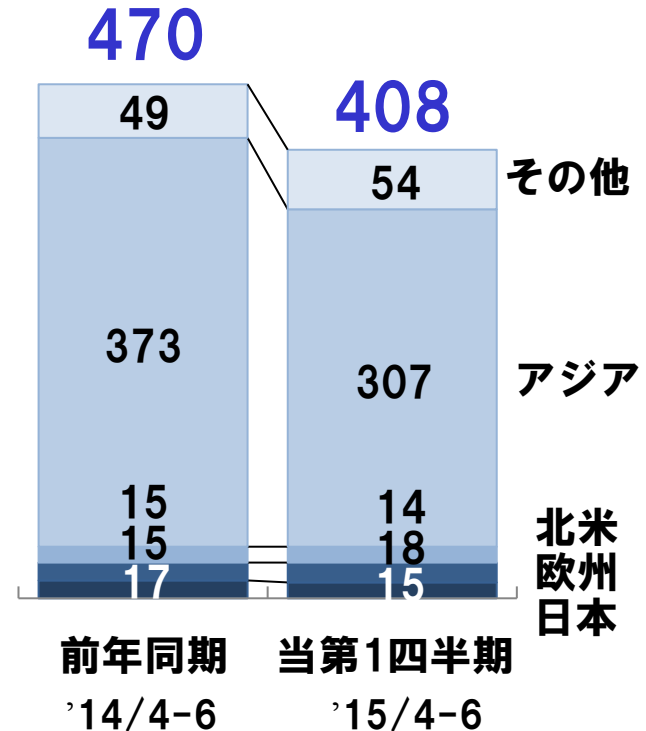
《第1四半期比較 生産台数》

▲78千台(▲16.7%)



《第1四半期比較 販売台数》

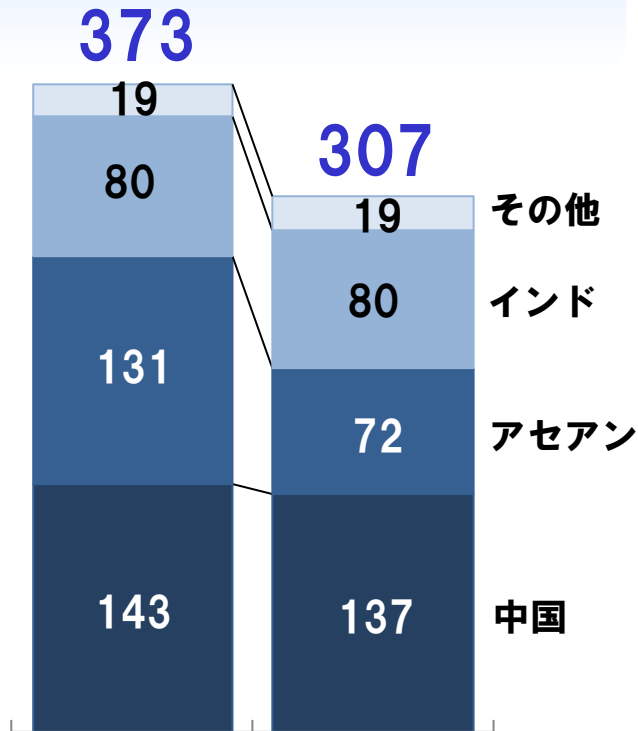
▲62千台 (▲13.3%)



（千台）

《第1四半期比較》

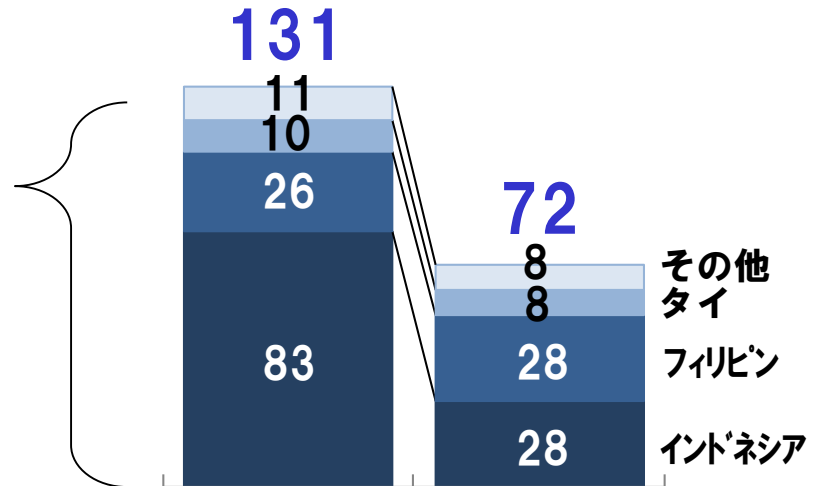
▲66千台(▲17.8%)



前年同期 '14/4-6 当第1四半期 '15/4-6

《アセアンの内訳》

▲59千台(▲45.2%)



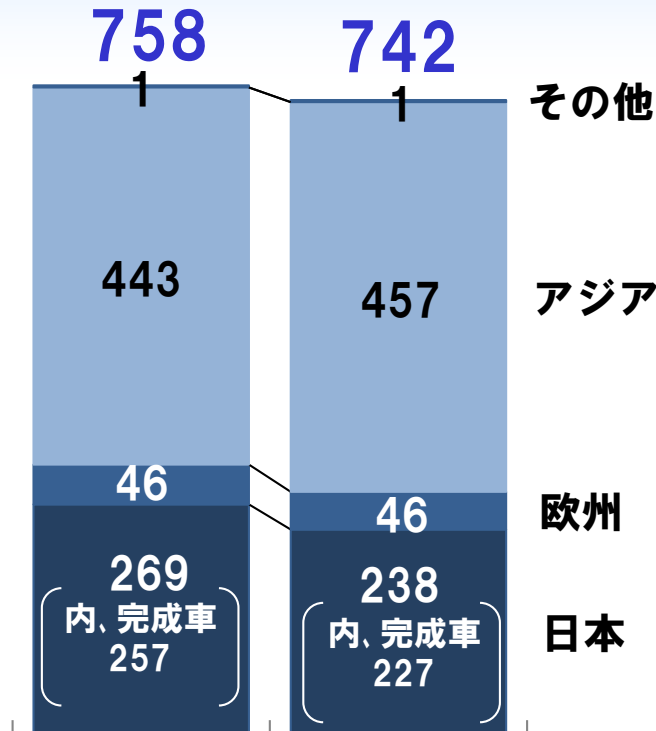
前年同期 '14/4-6 当第1四半期 '15/4-6

※アセアン：インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム 5ヶ国合計

(千台)

《第1四半期比較 生産台数》

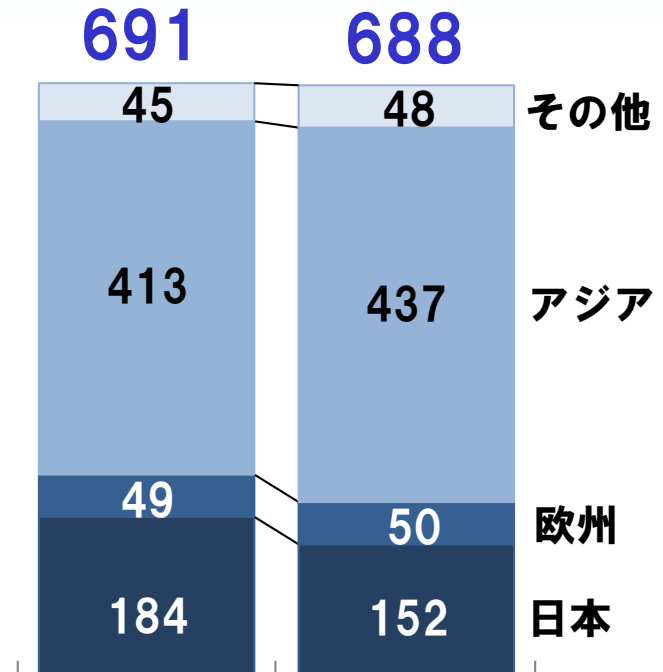
▲16千台(▲2.2%)



前年同期 '14/4-6
当第1四半期 '15/4-6

《第1四半期比較 販売台数》

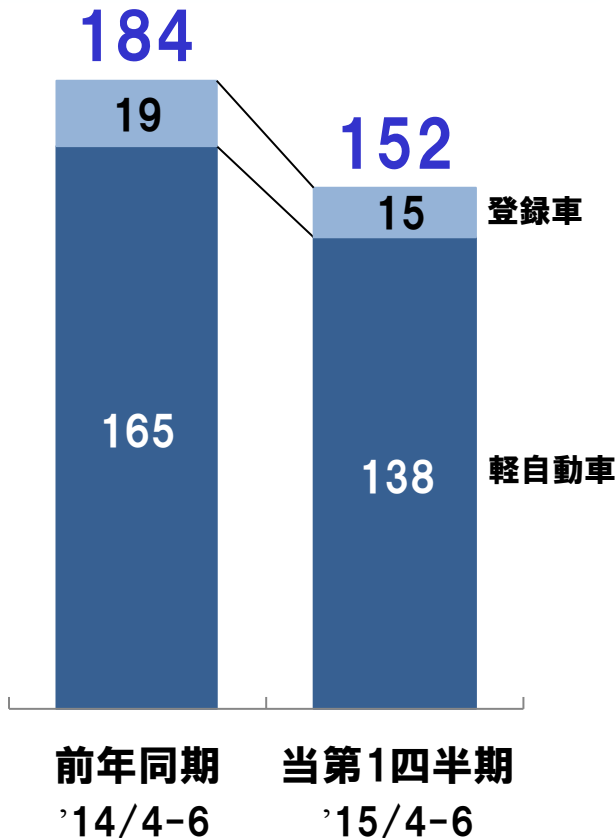
▲3千台(▲0.5%)



前年同期 '14/4-6
当第1四半期 '15/4-6

《第1四半期比較》

▲32千台(▲17.2%)
(千台)



・軽乗用車「アルト ラパン」を全面改良し、6月3日より発売

- ・女性ワーキンググループで、女性のためのクルマを企画
- ・こだわりのデザイン、女性にうれしい機能と装備を採用
- ・さらに女性の関心の高い安全技術を全車に標準装備

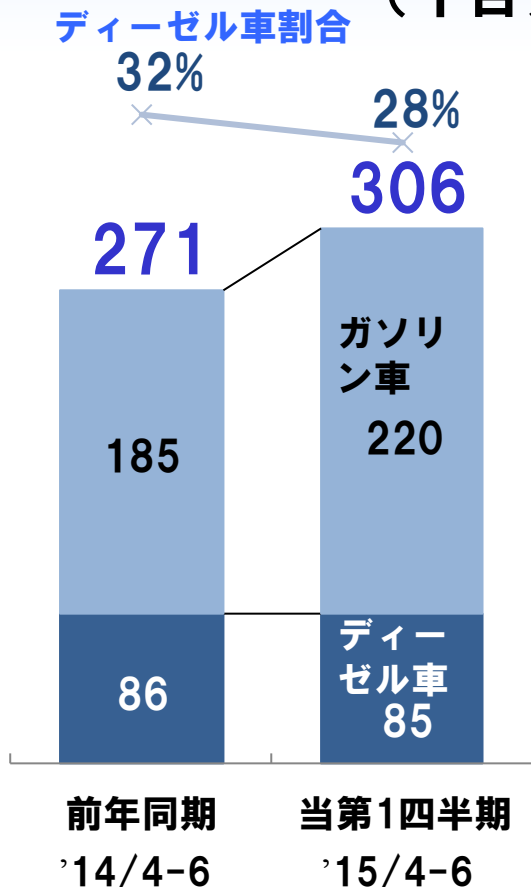


・低燃費で安全装備を充実させた軽乗用車「スペーシア」、「スペーシア カスタム」を5月19日より発売



- ・NA（自然吸気）車に「S-エネチャージ」を搭載
- ・先進の安全技術「デュアルカメラブレーキサポート」をメーカーオプション設定

《第1四半期比較》
 +35千台(+13.0%)
 (千台)

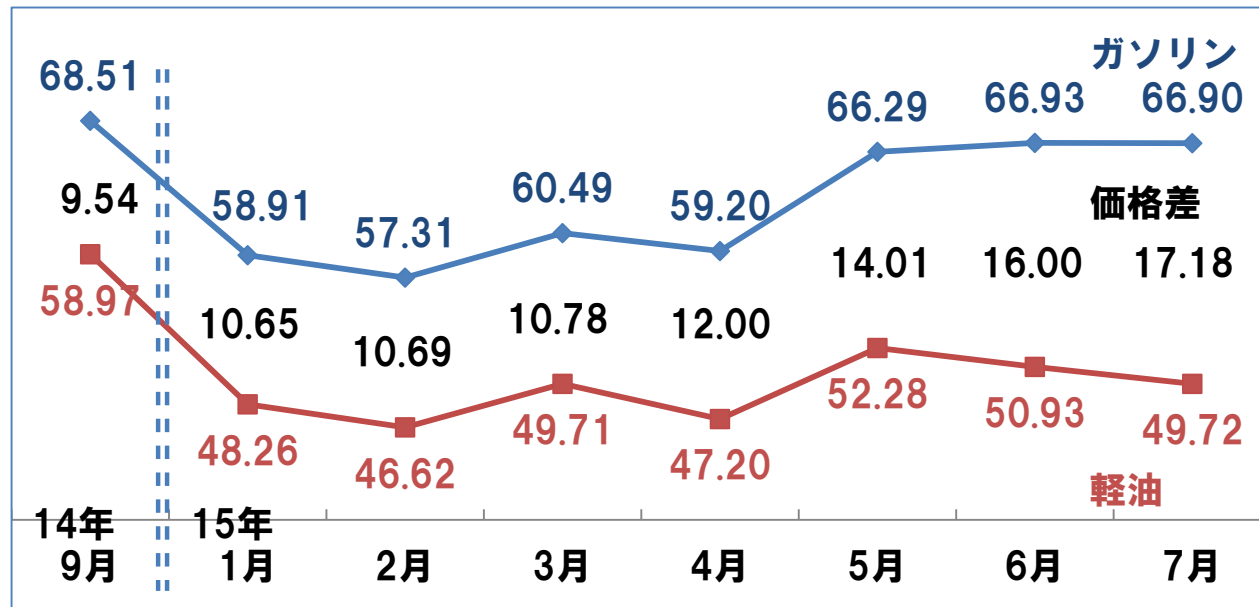


・2気筒0.8Lディーゼルエンジンを開発しインドに投入

- ・軽量・コンパクトな2気筒0.8Lの小型車向け「E08A型ディーゼルエンジン」を自社開発
- ・「セレリオ」に搭載、インド国内向けに発売
- ・低周波振動や燃焼音を軽減（エンジンの取り付け方法や車体剛性の最適化、吸音材の追加等）

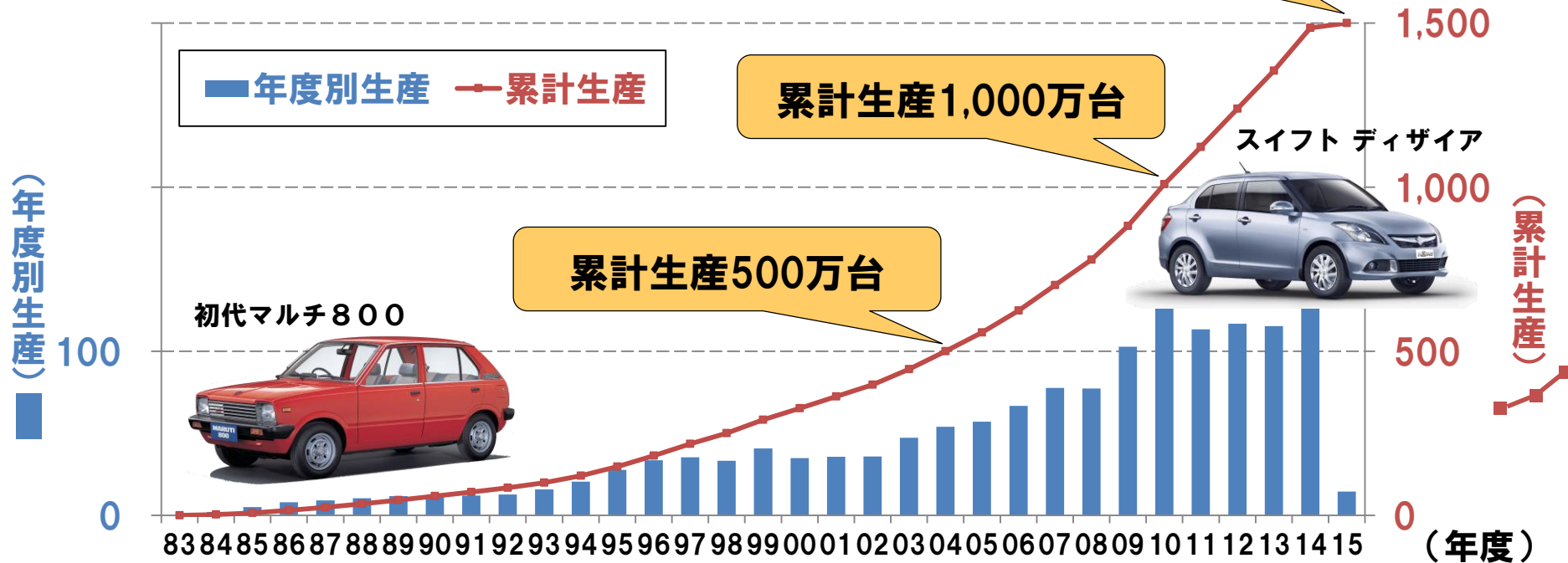


＜インド燃料価格推移＞



注. 月末時点ニューデリー価格(2015年7月は7月15日現在)

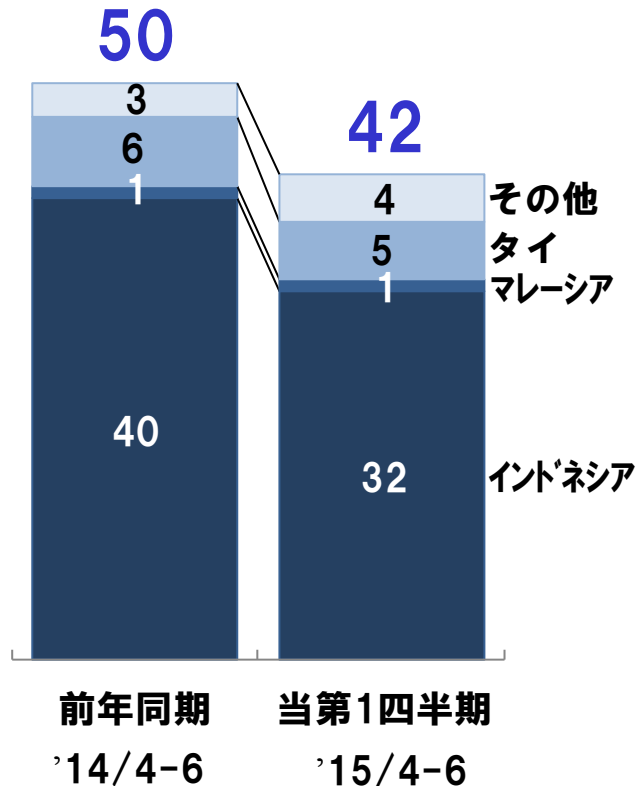
- 本年5月に1983年12月の生産開始以来31年5カ月で、**累計生産台数1,500万台達成**
 - 1983年12月に日本の軽自動車「アルト」をベースとした「マルチ800」の生産を開始
 - 2011年3月に累計生産1,000万台を達成
 - 1,500万台目はスイフトのセダントタイプ「スイフト ディザイア」



《第1四半期比較》

▲7千台(▲15.0%)

(千台)



・インドネシア四輪車新工場の開所式を実施

- ・5月29日にGIIIC工業団地内に建設していた四輪車組立の新工場（チカラン工場）の開所式を実施
- ・エンジン、トランスミッションから車体組立まで、チカラン工場で一貫生産を行える体制を構築



・タイで7月から本格セダン「シアズ」を販売開始

- ・流麗で上質なスタイリング、広く快適な室内空間、低燃費と優れた走行性能の両立、高い安全性能が特徴の本格セダン
- ・タイ ラヨン工場では、スイフト、セレリオに次ぐ3車種目のエコカー



※アセアン：インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム 5ヶ国合計

・5月11日公表から二輪車の予想を変更

(千台)

	通期生産台数				
	予想 (15年度)	前期実績 (14年度)		前回予想からの修正	
		増減	増減率		

	通期販売台数				
	予想 (15年度)	前期実績 (14年度)		前回予想からの修正	
		増減	増減率		

<二輪車>

日本	140	154	▲14	▲9.0%	▲3
欧州	—	—	—	—	—
北米	6	5	+1	+14.9%	—
アジア	1,461	1,554	▲93	▲6.0%	▲209
その他	94	85	+9	+10.2%	+10
合計	1,701	1,799	▲98	▲5.4%	▲202

日本	64	67	▲3	▲4.3%	▲6
欧州	49	45	+4	+9.2%	—
北米	45	43	+2	+5.1%	▲3
アジア	1,377	1,397	▲20	▲1.4%	▲198
その他	221	212	+9	+4.1%	+1
合計	1,756	1,764	▲8	▲0.4%	▲206

<四輪車>

日本	894	1,055	▲161	▲15.3%	—
欧州	163	143	+20	+14.2%	—
アジア	2,054	1,842	+212	+11.5%	—
その他	3	3	+0	+15.6%	—
合計	3,114	3,043	+71	+2.3%	—

日本	645	756	▲111	▲14.7%	—
欧州	205	195	+10	+5.3%	—
アジア	1,931	1,721	+210	+12.2%	—
その他	198	196	+2	+1.2%	—
合計	2,979	2,867	+112	+3.9%	—

・6月30日に「新中期経営計画（2015～2019年度）SUZUKI NEXT 100」を発表

SUZUKI NEXT 100		2014年度 実績	2015年度 公表値	2019年度 目標
連結売上高		3兆155億円	3兆1,000億円	3兆7,000億円
営業利益率		6.0%	6.1%	7.0%
株主還元	ROE	6.9%	-	8～10%
	配当性向	15.6%	(27円/株)	15%以上
研究開発費		1,259億円	1,300億円	2,000億円
		(5カ年累計設備投資)		(累計1兆円)
販売目標	四輪車	287万台	298万台	340万台
	二輪車	176万台	176万台	200万台

※為替レート前提…1米ドル=115円、1ユーロ=125円、1インドルピー=1.85円、
100インドネシアルピア=0.90円、1タイバーツ=3.50円

2016年3月期 第1四半期決算説明会



スズキ株式会社

将来予想に関する注意事項

※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。